

平成26年度 胎内市体育・保健体育部 活動報告

部長 本間 裕

1 研究主題 9年間を見通した児童生徒の基礎運動技能の向上

2 活動内容の概要

(1) 第1回部会「活動計画の立案」 参加者17名

- 日時・会場 5月12日(火) 15:30～16:40 (黒川小学校)

(2) 第2回部会「中学校教師による小学校への出前授業及び参観」 参加者12名

- ① 日時・会場 9月29日(月) 14:05～14:50 (胎内小学校)
- ② 授業者 加藤浩之(中条中学校 教諭)
- ③ 単元名 「体づくり運動～柔道の帯を使って～」
- ④ 概 略

中学校で初めて習う柔道の入門として、『帯』を使った体作り運動を行った。礼のこと、勝敗のこと、身体接触のことなどにもふれていたので、「早く柔道をやってみたい」という児童の気持ちが見てとれた。また、指示の出し方、児童の動かし方などの指導技術もすばらしく、小中の垣根を越えて学ぶべき要素が多々あった授業であった。



(3) 第3回部会「公開授業・協議」 参加者14名

- ① 日時・会場 10月29日(水) 13:40～16:30 (黒川中学校)
- ② 授業者 山田正人(黒川中学校 教諭)
- ③ 単元名 「剣道」
- ④ 概 略

「ルールやマナーを守り、相手を尊重しながら練習や試合をすること」「有効打突の条件を理解し、技を繰り出すこと」をねらいに行われた授業であった。剣道の特性である『防具や竹刀を使う楽しさ』を味わいながら、集中し、楽しみながら技を繰り出す、意欲的な生徒の様子が見られた。



3 成果と課題

小学校教員にとってなかなか参観する機会が少ない武道領域を取り上げてもらったことで、学習面・規律面以外の面でも、共有する部分が増えた。また、中学入学に期待と不安をもつ小学生に中学校の教諭が指導したことは、安心・期待につながり大変有意義な時間であった。活動内容をさらによりよくするために、指導案検討会を入れる等、授業改善に向けた取組が今後必要である。